

三菱UFJ / マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド 〈為替ヘッジなし〉 (毎月決算型) 〈愛称：世界のいしずえ〉

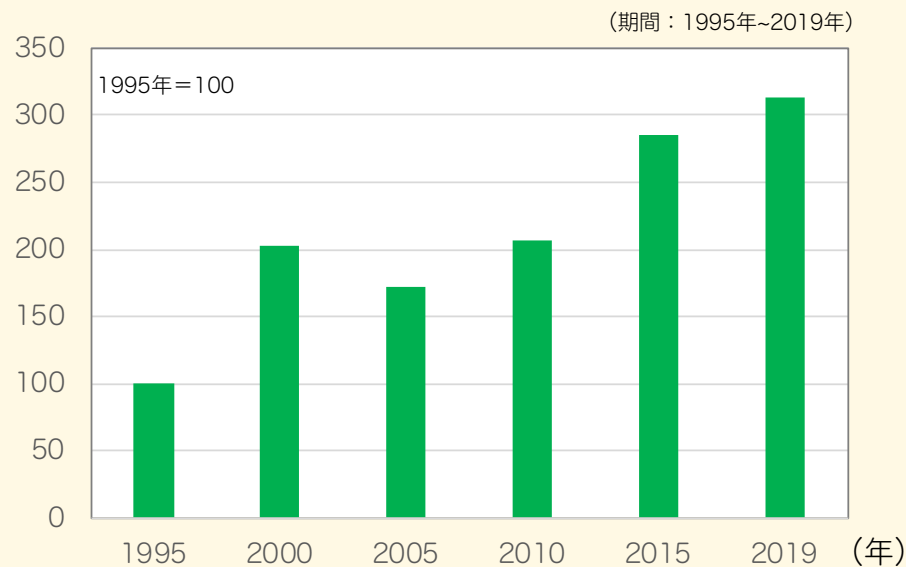
※本資料は「三菱UFJ / マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド 〈為替ヘッジなし〉 (毎月決算型) 〈愛称：世界のいしずえ〉」の概略を記載したものです。
このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモなどについては投資信託説明書 (交付目論見書) をご確認ください必要があります。

Q インフラってなに？

インフラ需要は「拡大」傾向

アメリカでは、新規インフラ需要に加えて老朽化等に伴う更新需要も増加。2021年11月には、雇用の拡大や米国経済の生産性と競争力等を高めることを目的に、バイデン大統領が1兆米ドル規模のインフラ投資法案に署名。

アメリカのインフラ投資額 (鉄道・道路)



出所：OECDのデータ、各種報道等を基に三菱UFJ国際投信作成
※上記は、インフラ需要拡大の一例です。

インフラとはインフラストラクチャーの略で、生活や産業活動の基盤となるような施設等のことを指します。

インフラ債券とは、インフラ関連企業が発行する債券のことです。
インフラ関連企業とは、日常的に必要とされるサービスや施設を提供している企業等を指します。そのため、需要は安定しており、企業業績は比較的、景気変動の影響を受けにくい傾向があります。

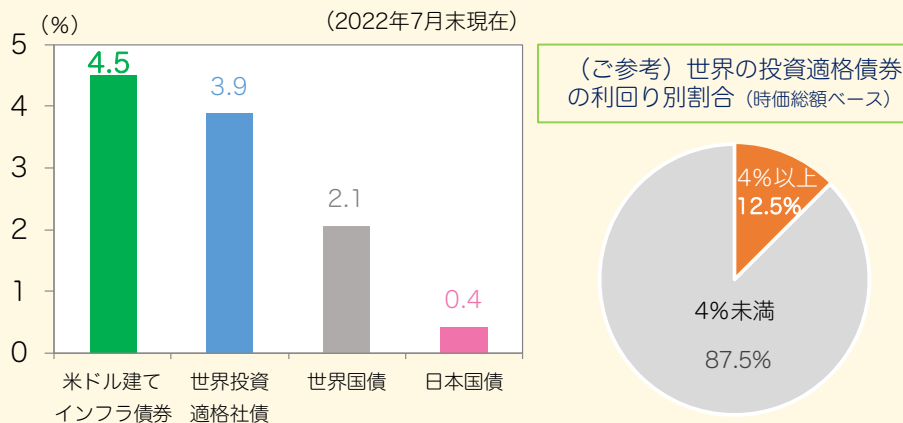


Q インフラ債券の利回りは？

相対的に「好利回り」

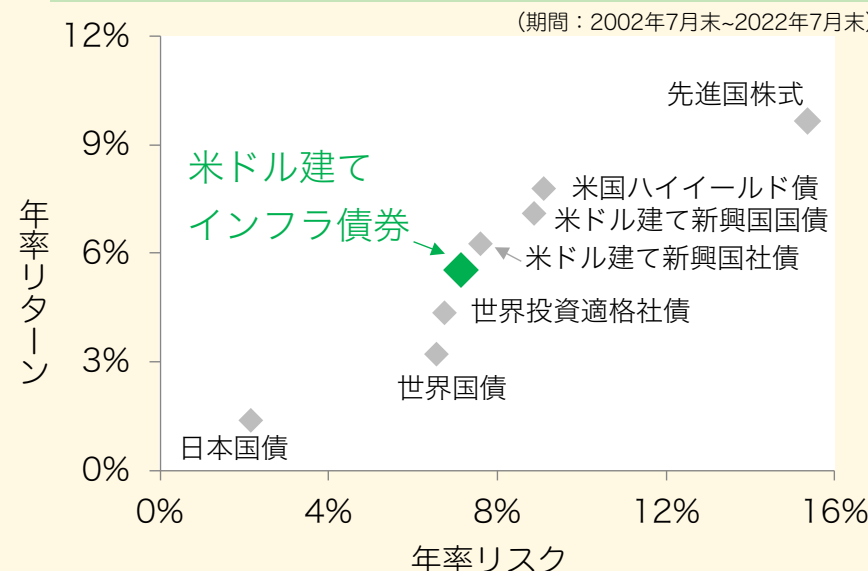
「世界のいしずえ」の主要投資対象は、世界のインフラ関連企業が発行する米ドル建て債券等です。インフラ債券の特徴の1つである投資適格債券の中での相対的な好利回りにより、相応のリターンが期待されます。

各種投資適格債券の利回り



出所：Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
※上記は指数を使用しており、当ファンドの運用実績を示すものではありません。※各指数は為替やその他特性を考慮しておらず、利回りだけで単純に比較できるものではありません。

(ご参考) リスク・リターン分布図 (直近20年)



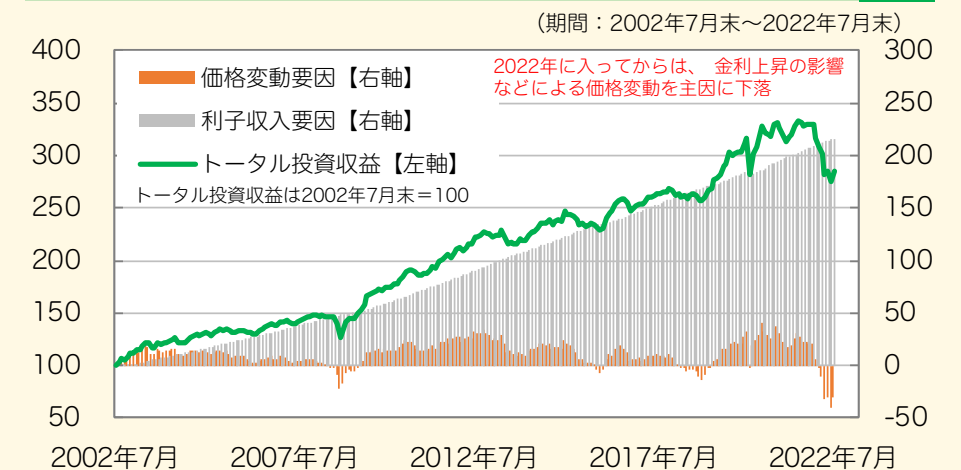
出所：Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
※上記は指数を使用しており、当ファンドの運用実績を示すものではありません。※日本国債以外は米ドル建てを使用しています。※年率リターンは月次騰落率の平均を年率換算して算出、年率リスクは月次騰落率の標準偏差を年率換算しています。※計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

Q パフォーマンスを教えてください

中長期では堅調なパフォーマンス

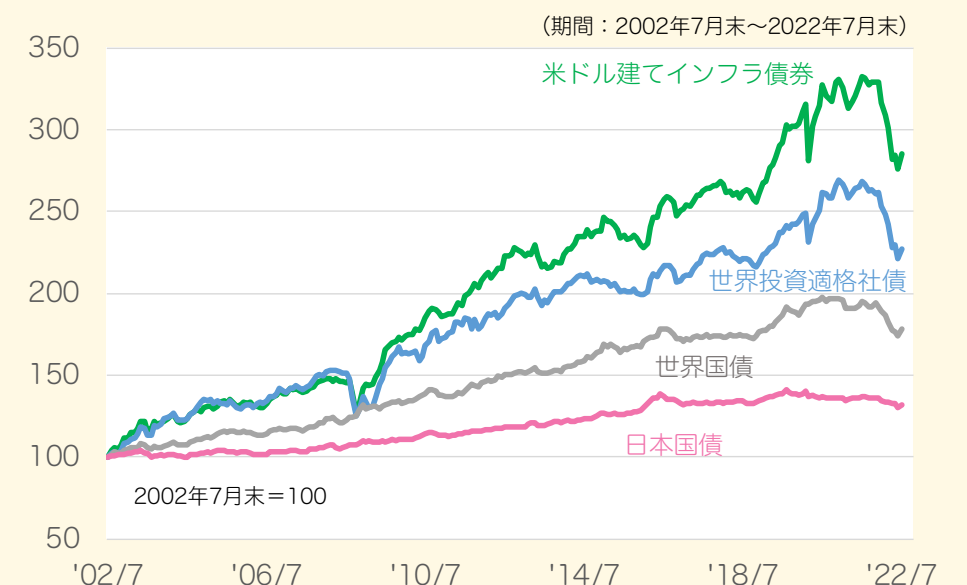
インフラ債券は、中長期保有することで利子収入が積み上がり、価格変動によるブレをカバーする効果が期待されます。他の投資適格債券と比較すると、中長期では堅調なパフォーマンスとなりました。

米ドル建てインフラ債券 (米ドルベース) の投資収益の要因分解



出所：Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
※上記は指数を使用しており、当ファンドの運用実績を示すものではありません。
※上記は簡便的に計算したものであり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

各種投資適格債券のパフォーマンス



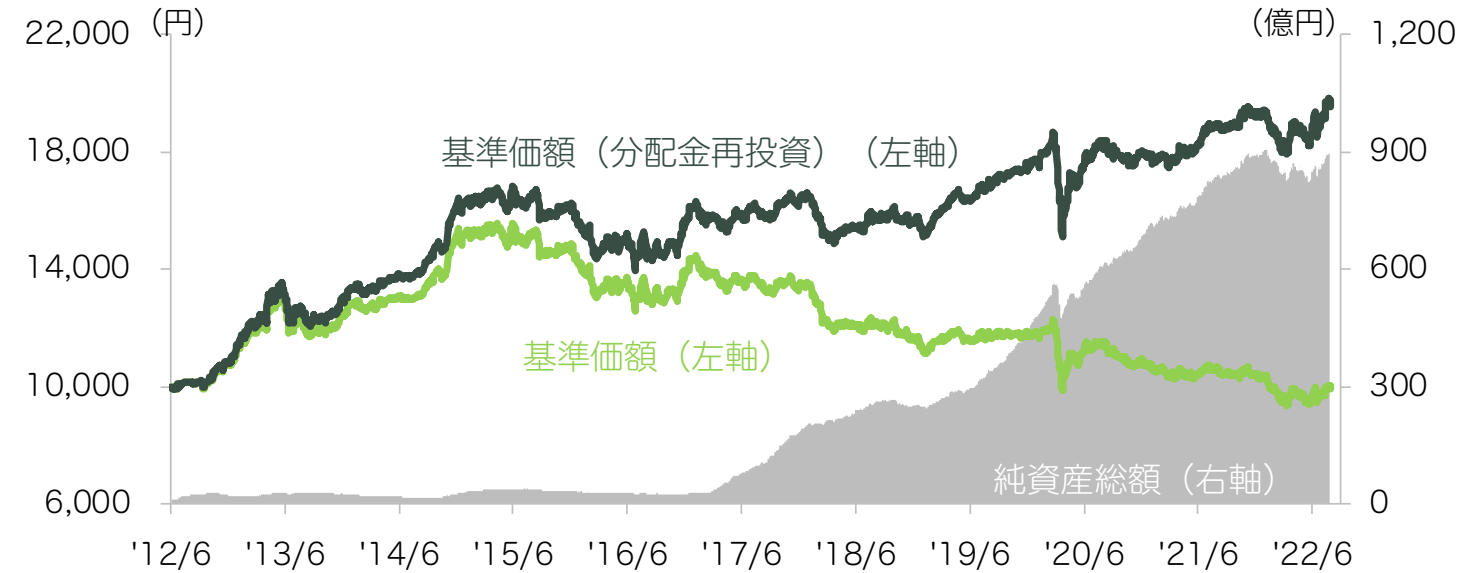
出所：Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
※上記は指数を使用しており、当ファンドの運用実績を示すものではありません。米ドル建てインフラ債券、世界投資適格社債、世界国債は米ドルベース、日本国債は円ベースの指数を使用しています。

三菱UFJ/マッコーリーグローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型) (愛称:世界のいしずえ)

ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

基準価額等の推移

(期間:2012年6月1日(設定日)~2022年7月29日、日次)



●ポートフォリオ特性 (2022年7月)

	ファンド
最終利回り	4.5%
直接利回り	4.3%
デュレーション	9.2
平均格付	BBB+

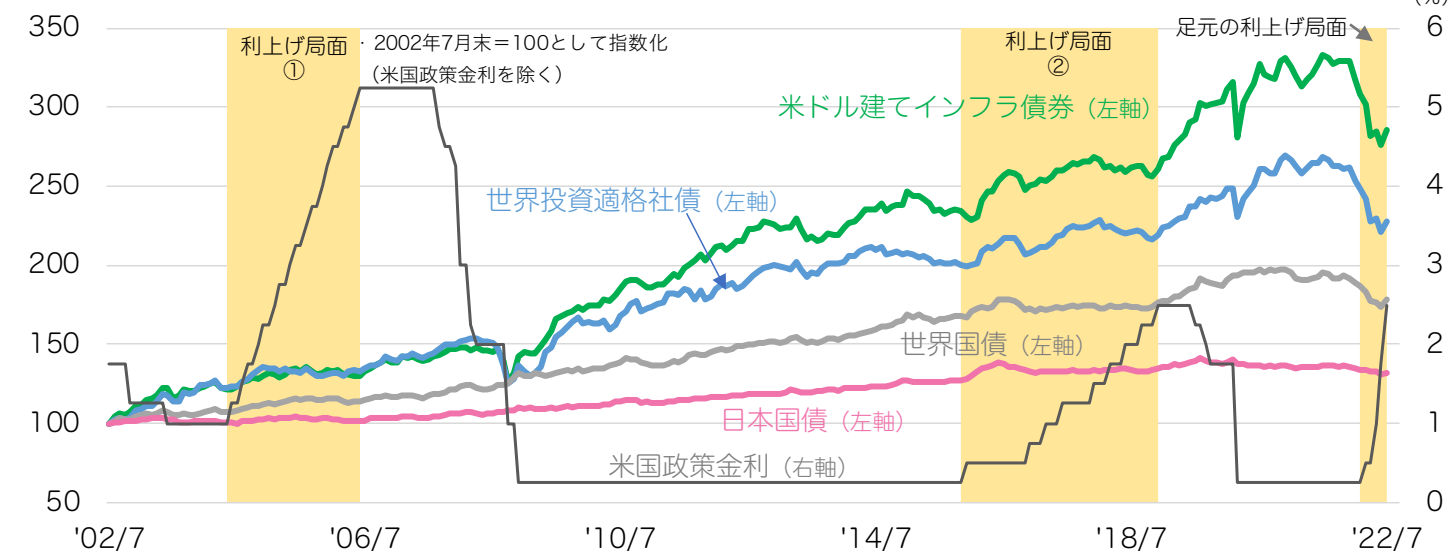
●分配金実績 (1万口当たり、税引前)

2022年3月	2022年4月	2022年5月
70円	70円	70円
2022年6月	2022年7月	累計
70円	70円	8,010円

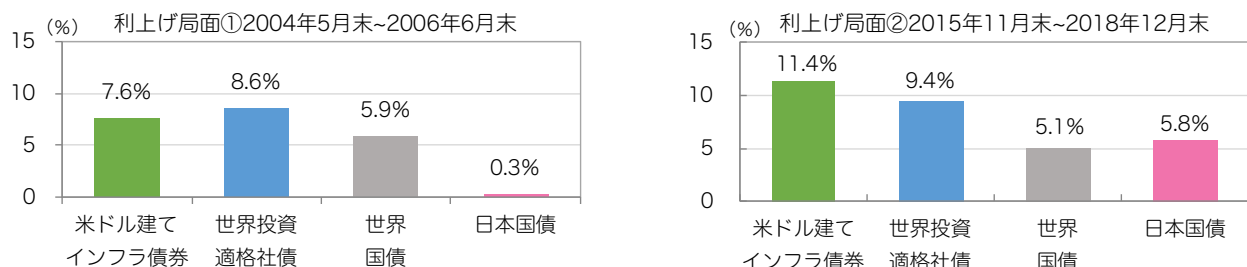
・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。・ポートフォリオ特性のデータはマッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドより提供された運用ポートフォリオベース(債券先物を含む)のもので、最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。・平均格付とは、基準日時点で当該ファンドが保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該ファンドに係る信用格付ではありません。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。

(ご参考) 米国の政策金利引き上げの影響について

●米国政策金利と米ドル建てインフラ債券等のパフォーマンス推移 (期間:2002/7~2022/7、月次)



●過去の利上げ局面における各種債券の騰落率



出所: Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
※上記は指数を使用しており、当ファンドの運用実績を示すものではありません。米ドル建てインフラ債券、世界投資適格社債、世界国債は米ドルベース、日本国債は円ベースの指数を使用しています。指数については、【本資料で使用している指数について】をご覧ください。

上記は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。表示桁数未満の数値がある場合には、四捨五入しています。

●ファンドの目的

世界のインフラ関連企業が発行する米ドル建て債券を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

●ファンドの特色

投資対象

・インフラ関連企業とは、公益、通信、エネルギーおよび運輸等の日常生活に必要な不可欠なサービスを提供する企業をいい、当該企業が発行する米ドル建て債券等をインフラ債券とします。

運用方法 債券への投資にあたっては、マクロ要因分析、業種分析、個別企業の財務・業務分析等の信用リスク分析に基づき、銘柄選定を行います。

・投資する債券は、原則として取得時においてBBB-格相当以上の格付けを取得しているものに限ります。・デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。また、ファンドの流動性等を勘案して、一部、米国国債等に投資する場合があります。

運用の委託先 債券等の運用にあたっては、マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。

為替対応方針 原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

分配方針

・毎月の決算時(10日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。

・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。

将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆・保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

収益分配金に関する留意事項

- ◆分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ◆分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ◆投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

●投資リスク

基準価額の変動要因: 基準価額は、金利変動による組入公社債の価格変動や為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスクです。上記は主なりリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

●ファンドの費用

■お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料: 購入価額に対して、**上限2.2% (税抜2%)** 販売会社が定めます。くわしくは、販売会社にご確認ください。

信託財産留保額: ありません。

■お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬): 日々の純資産総額に対して、**年率1.32% (税抜年率1.2%)** をかけた額

その他の費用・手数料: 以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。・監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※その他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

●本資料で使用している指数について

世界投資適格債券: ICE BofA グローバルブロードマーケットインデックス、世界投資適格社債: ブルームバーググローバル社債インデックス、世界国債: FTSE世界国債インデックス、日本国債: FTSE日本国債インデックス、先進国株式: MSCI ワールド インデックス(米ドル建て、税引き前配当込み)、米ドル建て新興国債: JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド(米ドル建て)、米ドル建て新興国社債: JPモルガンCEMBIブロード・ダイバーシファイド(米ドル建て)、米国ハイイールド債券: ICE BofA 米国ハイ・イールド・コンストレインド指数

米ドル建てインフラ債券(ブルームバーグ米国社債インデックスの公益・通信・エネルギー・運輸セクターの合成インデックス): 米ドル建てインフラ債券はブルームバーグ米国社債インデックスのサブインデックスの中から、公益・通信・エネルギー・運輸セクターを三菱UFJ国際投信が時価総額加重平均し算出しています。

本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ (<https://www.am.mufug.jp/other/disclaimer.html>) を合わせてご確認ください。

●本資料に関するご注意事項等

■本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

販売会社は右記の三菱UFJ国際投信の照会先でご確認いただけます。

■設定・運用は



三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

お客さま専用
フリーダイヤル **0120-151034**
(受付時間/営業日の9:00~17:00)

●ホームページアドレス: <http://www.am.mufug.jp/>